

こんにちは

日本共産党

週刊ニュース

# 横浜市議団です

日本共産党  
横浜市議員団  
2010.04.28号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)  
電話 671-3032 FAX 641-7100  
E-mail: info@jcp-yokohama.com  
http://www.jcp-yokohama.com/

## 敬老パス 現状維持で！

### 敬老パス連絡会が市に署名提出、市民集会開催

横浜市は、高齢者の増加等によって敬老パスの市費負担が増えるのを抑えるため、利用者負担増を検討していますが、23日「高齢者の生きがい！ 敬老パスを奪うな」と、市民集会が開かれ、約80人が参加しました。これは、「敬老パス負担増を考える連絡会」が開催したものです。

市が示した案は①3年ごとに利用者負担額を値上げ、②対象者を75歳以上に段階的に引き上げ、③乗る度に100円のワンコイン方式かフリーパス方式の3案。いずれもほとんどの場合負担増につながります。

連絡会は、敬老パスの現状維持を求める署名を今年1月から取り組んでいます。23日の集会に先だって署名を市に提出し、署名筆数は3月6日に提出した一次分と合わせて2万2737人分となりました。



敬老パス制度の現状維持を求める集会で発言する  
関美恵子議員＝23日、横浜市技能文化会館(中区)

集会では、参加者がそれぞれの取り組みを報告しました。市交通局の労働組合役員も参加し、労働組合として、市バスの乗り換え時の負担軽減やバリアフリー化、春のダイヤ改正による不具合の改善など、市民の足を守るために頑張っていると述べました。

日本共産党市議団を代表して担当常任委員の関美恵子議員が代表して「現状維持のために頑張れぬ」と訴えました。

同会は、市に負担増計画を断念させるため、6月末までに5万人の署名を集めようと呼びかけました。

### 議会「スケジュールの白紙撤回を」

#### vs 林市長「計画通り進める」

市健康福祉・病院経営委員会は、2月3日の会議で、あまりにも性急すぎるとスケジュールの白紙撤回を全会一致で行いました。

しかし、林市長は、市議会の意思を無視して予定通り敬老パスの見直しを強行する考えなのかという大貫憲夫議員の予算代表質問に対して、「厳しい財政状況にあり、議会と相談しながら、2011年11月の実施に向けて取り組んでいきたい」と、計画通り進めることを表明しています。

### 市民集会で主な発言

#### ◆鶴見区のよこはま健康友の会の方

通院にありがたい制度で、ボランティアに行く時にも使っており、敬老パスがなくては生活・活動が成り立たないと、パスの重要性を訴えました。

#### ◆都筑区の町内会長さん

署名用紙を増し刷りして、他の自治会や町内会に呼び掛け、約1340人分の署名を集めました。

#### ◆旭区若葉台のMさん

「敬老パスと若葉台のバスを考える会」を結成。署名用紙を全戸に配り始め、「次回には大量の署名を持っていきたい」と意欲満々です。

#### ◆南区六ッ川の日本共産党後援会のTさん

署名用紙を全戸に配布して訪問を行っています。「改悪を知らない人が非常に多い。みなさん快く署名してくれる。どんどん宣伝していかないといけない」と強調しました。

(しんぶん赤旗記事や出席者の話より)